

社協だより まごころ

社協だより



No.220
2019.11.10

社会福祉法人
福井市社会福祉協議会

福井市田原1丁目13-6
フェニックス・プラザ1階(福井市民福祉会館)

TEL: 0776-26-1853

FAX: 0776-26-9109

HP: <http://www.fukuic-shakyo.jp/>

f: <https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>

✉: info@fukuic-shakyo.jp



こちらのQRコードから、当会Webサイトの社協だより掲載ページにリンクできます。PDF形式とテキスト形式(※文章のみ)で公開しています。

わたし×ふくし=可能性



今回の表紙

福井県子どもNPOセンター 「演劇キッズ」の皆さん

演劇キッズの皆さんは、2020年3月7日(土)にハピリンホールにて発表を行います。

詳しい情報は、福井県子どもNPOセンターのWebサイトをご覧ください。

【Webサイト】<http://childnpo.com/>



CONTENTS

- 2 地域防災を考える講座のご案内、ユニークダンスパーティーのご案内、ハートフル文化祭のご案内
- 3 地域歳末たすけあい募金のご案内、生活福祉資金貸付制度のご案内、寄附・寄贈
- 4 児童館職員募集
企業広告募集、各種相談



わたし×ふくし ミニインタビュー

—どんな活動をしているのですか？

小学3年生から中学生までの子どもたちが、月に3回程度の稽古を行い、ホールでの発表を目指して演劇づくりに取り組んでいます。「ゼロからつくるおしばい」をキーワードに、セリフや場面等も、子どもたちと話し合いながら決めています。

—この活動を始めたきっかけは？

演劇づくりを通じた色々な人たちとの出会いや、様々な練習による経験を子どもたちの心の成長に役立てたいと、2015年から活動がスタートしました。演劇づくりという表現活動を通して、子どもたちが自信をつけたり、苦手を克服したりと、大きな成長につながっています。

—『わたし×ふくし=可能性』の解説をお願いします！！

演劇キッズの活動では、子どもの可能性を大人が一方向的に判断しないよう心がけています。キーワードの「ゼロからつくるおしばい」の通り、演劇づくりをできる限り子どもたちに委ねています。そうして子どもたちを同じ演劇を作る仲間として信じることで、役への責任感や、仲間とひとつのものを作り上げる協調性、相手の立場や気持ちを想像する力など、様々な可能性を伸ばすことになると感じています。来年3月に行われる発表は、そんな子どもたちの成長、そして可能性の集大成です。たくさんの方のご来場をお待ちしています！！